

都市空間の再編とツーリズムについて

ツーリズム研究会 050917 平山洋介（神戸大学発達科学部）

## 1. 現代都市再編の社会・空間理論

- ・ Post-Industrial City : “F I R E” の成長、文化・アミューズメント産業の台頭
- ・ Post-Fordist City : 資本移動の敏速化、資本回収の短期決戦化、雇用の流動化
- ・ Global City : 資本・労働力・商品・情報・知識のグローバル・フローへの流入
- ・ Competitive Cities : 資本争奪戦、人口争奪戦、“結節点”化の競争、市場の都市評価
- ・ Informational City : コミュニケーション・テクノロジーの革命、“フローの空間”の出現
- ・ Privatized City : 福祉国家の退潮、市場経済の規制緩和、市場による公共セクター評価
- ・ Consumption City : 生産機能の停止、消費社会・文化資本・象徴経済の台頭
- ・ Semiotic City : デイズニフィケーション、記号のコラージュ・モンタージュ、  
サンプリング、カット&ペースト、「いま・ここ」の消失、気分の編集
- ・ Urban Enclaves : エッジシティ、ゲイティッド・コミュニティ、「飛び地」建設
- ・ Private Public Space : ウォーターフロント、アトリウム、「飛び地」
- ・ Urban Surveillance : 監視カメラ、禁煙地区、公園夜間閉鎖、ストリート規制
- ・ Aesthetic City : 都市美観の重視、パブリックアート
- ・ Cyber City / Cyborg : ネット空間、携帯・モバイル・携帯TV・ウォークマン
- ・ Dual City : “F I R E” と “マクドナルド・プロレタリアート”
- ・ Fragmented City : 社会・経済条件のバラバラ化、人種・エスニシティ・ジェンダー
- ・ Urban Matrix : “結節点” と “ボイド”
- ・ Post-Modern City : 進歩・歴史・普遍・物質・機能・権威・科学・ハイカルチャーから  
望郷・円環・特殊・記号・象徴・参加・伝統・バナキュラーへ
- ・ Time/Space Compression : 線状の時間の終焉、同心円状の空間の終焉、

## 2. 現代都市の建築

工場・駅・港・学校・集合住宅……

ビジネス・パーク、ショッピング・モール、テレポート、国際会議場・展示場、  
エッジ・シティ、美術館、テーマパーク、サイバーシティ……

## 3. 神戸ルミナリエについて

- ・ 競争都市 : 工業経済の退潮、ツーリズムの重視、交流人口の経済効果
- ・ 記号都市 : 「震災犠牲者の鎮魂」という根拠
- ・ イメージ都市 : 「ルネサンス」の「イタリア」というシミュラクルの編集
- ・ ポスト・フォーディスト都市 : 仮設建築物の発光
- ・ 情報都市 : メディアとの連携
- ・ 消費都市 : 店舗併設、関連グッズ
- ・ 大衆都市 : 「市民参加」の強調
- ・ 監視都市 : 観客移動の管理・誘導・監視
- ・ 二重都市 : 「光の彫刻」と「ホームレス」、「脱工業都市」と「工業都市」
- ・ “デプスレスネス” : ルミナリエ、神戸まつり、ワイン城、異人館……

関連拙著

『不完全都市 神戸・ニューヨーク・ベルリン』（学芸出版社、2003）

『東京の果てに 都市空間の改造力学』（N T T 出版、2006 予定）